



発行：原子力発電環境整備機構（NUMO）

<http://www.numo.or.jp/>



吹く風もすっかり春めいてきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
新入生や新入社員の姿を目にするたび、心の中でエールを送っています。

本日は、当機構ホームページのコンテンツリニューアルのお知らせと、
2016年度ジオ・ミライ号の実施報告などの情報をお届けします。

《目次》-----

◆お知らせ/イベント情報など

- 【リニューアルのお知らせ】当機構ホームページ「よくあるご質問」コンテンツが新しくなりました
- 【掲載のお知らせ】コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の2016年度実施報告をホームページに掲載しました
- 【教材のご紹介】「高レベル放射性廃棄物の処分問題」を学ぶ基本教材をホームページに掲載しました

◆NUMOのひと



◆お知らせ/イベント情報など

【リニューアルのお知らせ】当機構ホームページ「よくあるご質問」コンテンツが新しくなりました

このたび、当機構ホームページの「よくあるご質問」コンテンツが見やすく、探しやすくなりました。リニューアルしたコンテンツの主な特徴は3点です。

- ① 「注目度の高いご質問」や「お問い合わせの多いご質問」コーナーを設けるなど、メニューが新しくなりました。
- ② より見やすく、探しやすくなるようカテゴリーを整理し、QAの内容や表現を見直しました。
- ③ 「よくあるご質問」内でキーワード検索ができるようになりました。

皆さま、ぜひご利用ください。

▽NUMOホームページ「よくあるご質問」はこちらから

http://www.numo.or.jp/q_and_a/

【掲載のお知らせ】コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の2016年度実施報告をホームページに掲載しました

全国各地を訪問しているコミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の2016年度

実施報告をNUMOホームページに掲載しました。2016年度は全国38ヶ所、78日間の展示で累計約3.5万人の方々にお会いすることができました。

2017年度も4月下旬から活動を始めます。開催日が近くなりましたら、ホームページに詳細を掲載しますのでお楽しみに！

▽「ジオ・ミライ号」2016年度開催報告はこちらから

http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/#sec_02

【教材のご紹介】「高レベル放射性廃棄物の処分問題」を学ぶ基本教材をホームページに掲載しました

当機構では、エネルギー教育支援の一環として、小学生・中学生向けに授業でご活用いただける「基本教材」を作成しました。2015年度にパイロット版を作成し、昨年度、エネルギー環境教育に携わっている先生方に実際に授業などでご使用いただきました。

このたび、いただいたご指摘やご意見を反映した「完成版」を作成しましたので、NUMOホームページに情報を掲載し、資料送付のお申し込みを承っております。

また、データとしてダウンロードも出来ますので、ぜひご利用ください。

▽「教育関係のみなさまへ」関連情報はこちらから

<http://www.numo.or.jp/education/>

▽「基本教材」のお申し込みやダウンロードはこちらから

<http://numo-eess.jp/model/>

【NUMOのひと】

皆さん、はじめまして。技術部の後藤考裕です。

2010年に新卒1期生としてNUMOに入構し、今年で8年目になります。

入構した当時は同年代が同期の1人だけでしたので、ずっと年齢が離れた人達に囲まれて、どぎまぎしながら仕事をしていました。

現在は、人工バリアの設計や、ガラス固化体の性能評価に関する業務に携わっています。

NUMOを志望したのは、この地層処分という事業が、誰かが進めなければならない、やりがいのある事業だと考えたからです。

もともと大学の研究室では地層処分に関する研究を行っていました。具体的には、地層処分された放射性廃棄物の容器から、放射性物質が拡散することを想定し、その周りにあるベントナイト製の緩衝材がどの程度、放射性物質の移動を遅らせる能力があるかを把握するというものです。研究を行う中で、NUMOという実施主体のことを知り、また幸運にも当時の技術部長や

技術顧問の講演を聞き、入構することを決意しました。

休日は出不精を解消するため、ときどきですが映画館に足を運びます。

「シン・ゴジラ」や「この世界の片隅に」のように、テレビでよく取り上げられる作品も見ますが、最近見たのは松山ケンイチさんが主演の「聖（さとし）の青春」です。

主役の村山聖（さとし）さんは将棋のプロ棋士で、20年ほど前に膀胱がんで29歳の若さで亡くなられた方です。将棋をよく知らない方は、プロ棋士というと七冠を獲得された羽生善治さんや、最近テレビによく出演されている加藤一二三さんくらいしかご存じないかもしれません。羽生さんが20代の頃、他の若手も台頭が著しく、ハンカチ世代や松坂世代と同じように羽生世代と呼ばれるようになりました。村山さんもその一人です。

私自身は将棋をほとんど指さないのですが、父が将棋好きで、休日にテレビで対局を見たり雑誌を購入したりしていたため、横目で見るとプロ棋士について知るようになりました。

村山さんは幼少のころよりネフローゼ症候群という腎臓の難病を患い、闘病生活を続けてきました。そのような中で、プロの世界で勝ちあがり、将棋界の最高峰であるA級リーグに3期在席されました。残念ながら村山さんはA級リーグに在籍されたまま、がんにより亡くなられてしまいましたが、20年近く経った今でも映画になるなど、その生き様が語り継がれています。「聖の青春」はその村山さんの生涯が、将棋にかける情熱とともに描かれている作品です。

村山さんに限らず、一つの物事に命がけで取り組まれる姿はとても格好良く憧れます。私もそのような姿を周りの人に見せられるように、邁進していきたいと考えています。

メルマガ登録はこちらから <http://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp

[連絡先] 地域交流部 TEL 03-6371-4003
